

われもこ

題字 吉永 一美さん



人それぞれの生き方に触れて

NPO 法人 権利擁護たかつき 理事 増田 和宏

もう何年前のことだろうか。

故郷で暮らす母親から私の同級生が亡くなったと電話があった。肺がんだっらしい。帰省中にたまたま見かけた彼が、プカプカと煙草をふかしていた姿を思い出した。

彼には知的障がいがあった。私にとって彼の存在や彼との関わりが、今の仕事に携わるきっかけになったと言っても過言ではないだろう。

幼少期の頃のことはあまり記憶にないが、保育所に通っていたころ、私が彼に顔面を大きく引っ掻かれてケガをしたことがあったらしい。夕方の迎えの時、母親は私の顔に何本も赤い線が入っているのを見てビックリしたそうだ。

体の大きな彼は、普段は穏やかなのに急に怒り出して大声を出したり、気に入らないことがあると物を壊したりした。中学生の時、パニックになった彼が水の入った掃除用バケツを廊下でひっくり返したこともあった。他のクラスメイトが関わろうとしない中、私は彼に「自分がひっくり返したんやから自分で拭いて」と雑巾を差し出していた。今にし

て思えば「なんて偉そうな」「何様のつもり？」と当時の自分を恥ずかしく思う。他にもいろんなエピソードがあるが、私にとって彼はどこか気になる存在だった。でも、当時はまだ知的障がいに関する知識がなかった私は「なんで急に大きな声を出すんだろう」「なんで急に怒るんだろう」「なんで伝わらないんだろう」の繰り返しだった。

高校入学に際し彼とは疎遠になったが、大学でボランティアサークルに入った私は、活動の中で知的障がいのことを知った。当時はまだ「知恵遅れ」とか「精神薄弱」という言葉で表現されており、彼らには教育や指導が必要だと言われていた。

大学の夏休みには、複数の大学から集まった学生ボランティアが、施設に泊まり込んで入所者の方々と交流する機会があったが、ある年、知的障がいのある子どもとボランティアがペアを組み2泊3日の生活を共にする活動があった。私がペアを組んだ子どもは、普段と違う雰囲気と興奮気味で夜になってもなかなか寝つけられない様子だった。短い時間ではあるものの、食事も遊びも入浴も寝る時



もずっと一緒に過ごしている中で、少しずつ相手のことが分かり始めた時、突然その子どもが笑いながら自分の唾液を手に吐きだして私に塗りつけたり、プッと唾を吐きかける行動が始まった。「ちょっと！やめろや！」私は思わずそう言った。なんの嫌がらせなのか、なんでそんなことをするのか、とモヤモヤしていたその夜、施設のスタッフから「彼は親しい相手にしかせえへんよ」「方法は間違ってるかもしれんけど、彼の嬉しさの表現方法やねん」と声を掛けてもらった。「え？そうなんですか？」と、目からウロコ状態の私は「初対面の私のことを受け入れてくれたのかな？」と胸が軽くなった。

あれから30年、私は知的障がい者の支援に携わる仕事をしたいと思い、そのボランティア活動をさせていただいた施設に就職し、その後転職して今に至る。今、私は以前の生活支援員ではなく、成年後見人という立場で知的障がいのある方々に関わっている。業務の性質上、ご本人の口座からお金を引き出したり、入院や入所の契約を代行したり、遺産相続や不動産の売却手続きをしたりする。他の支援者や関係機関の皆さんが手を差し伸べにくい部分の対応ができるためか、あるいは弁護士や司法書士といった専門職が担うイメージがあるからか、時々「先生」と呼んでいただくことがあるが、私にはその響きがどうもしっくりこないし居心地が悪い。それぞれの支援者の役割が異なるだけで、ご本人を支える一人のメンバーに過ぎないと思っているからだ。

かつて福祉現場にいたクセが抜けないからか、もともとの自分の性格がそうさせるのか、後見活動を行う中で、今でもついついご本人のお困りごとを解決しようとテレビの

取り付けやベッドの組立て、エアコン配管穴のパテ埋めや床のモップ掛けをしたり、引っ越しを手伝ったり、ご本人と一緒に実家に隠したヘソクリを取りに行ったり、美味しそうになぎ屋さんを探したり、通販でテレビゲームの攻略本を買ったり・・・。

そんな時、ある利用者さんから「なんでそこまでしてくれるんや？」と尋ねられたことがあった。そんな風に声をかけられたことがなかったので「お節介なだけですわ」「支援者の中に一人ぐらいそんな奴が混じっていても迷惑になれへんでしょ」と答えたら大笑いしておられたが、咄嗟に答えた割には案外的を射た答えだったようにも思う。

知的障がいといっても、その障がい特性は一括りにできない。行動もこだわりも人それぞれだ。価値観だってみんな違う。今の世の中、器用に生きていける人ばかりではない。障がいゆえに十分な理解ができないまま不利益な契約をしてしまった人、見通しを立てることができず給料を数日で使い果たしてしまう人、ご両親が高齢のため少しずつ自立を始めた人、環境の変化に戸惑いながらも懸命にグループホームで生活している人・・・。

「そんな皆さんの暮らしにくさや生きにくさを少しでも軽くすることができたら」と考えながら、日々の後見活動を続けている。後見人は決して万能ではない。何が正解かなんて分からないし、うまくいくことばかりではないけれど、その人らしい暮らしの実現に少しでも役に立てたら嬉しいなと思う。

今度、故郷に帰省した時は、そんな自分にきっかけをくれた同級生の彼の墓前に手を合わせてこよう。

虐待防止委員会より

虐待の芽チェックリスト&自分のケアチェック

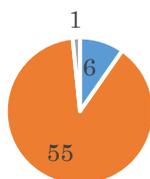
法人職員へのアンケートを実施

今年7月に法人職員(介護職)を対象に、「虐待の芽チェックリスト」と「自分のケアチェック」のアンケートを実施しました。そのごく一部をご紹介します。

(※詳しくは、ホームページをご覧ください)

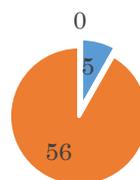
■虐待の芽チェックリスト

ご利用者に友達感覚で接したり、子ども扱いしたりしていませんか。



■ している ■ していない ■ (自分以外で該当する人がいる)

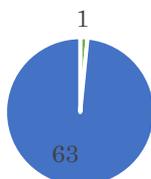
ご利用者に対して威圧的な態度、命令口調「〇〇して!」「ダメ!」で接していませんか。



■ している ■ していない ■ (自分以外で該当する人がいる)

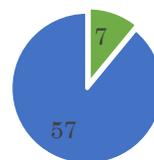
■自分のケアチェックリスト

多訴的なご利用者からの要求を無視する。



■ 多訴的な利用者からの要求を無視する。 ■ 行っていない

転倒防止や見守りの観点から、居室の扉は開けっ放しにしておく。



■ 転倒防止や見守りの観点から、居室の扉は開けっ放しにしておく。 ■ 行っていない

▼各事業所でアンケート結果を検討

「ご利用者は人生の先輩ですよ。」「相手の立場に立って考えて!」「そんなことされたら、どんな気持ちになる?」と、自分のケアを、自分の言動をチェックしています。ご利用者の思いを知り、信頼関係を築きながら権利擁護を意識してケアを行っていきます。

訪問介護



私が同行援護をさせていただいている利用者さんの多くは後期高齢者の方ですが、皆さん日々の暮らしや人生にとっても前向きです。

ウォーキングや散歩を日課にする方、一人暮らしでさらに生活のほとんどをご自分でこなす方、趣味の会に積極的に参加される方、パソコン教室に通われる方など。「こうやって外出するのが楽しみや」「外の空気を吸うと心が晴れる。家なんか閉じこもってられへん」と仰っています。



しかし利用者さんの多くは中途失明された方です。一家の大黒柱として働き盛りの年齢で視覚を失うという大変なご苦勞を乗り越えられた結果として、人生に積極的に向き合っておられる姿を目の当たりにすると頭の下がる思いです。ケアの終了時に「ありがとうございます」「今日は楽しかったで」と仰ってくださいますが、本当は「ありがとうございます。元氣をいただきました」とお礼を言わなければならないのは私の方だといつも思っています。(S)

小規模多機能型居宅介護 あすなろ



あすなろでは、9月からアロマオイル（エッセンシャルオイル）を導入しました。

天然由来の高品質エッセンシャルオイルで、無農薬かつ化学物質等の不純物が一切入っていない安心して利用できるものです。あすなろの利用者・スタッフ双方の満足度を目指して導入しました。純粋なオイルが心と体と脳に直接届くため、ストレス緩和、睡眠の質の向上、認知機能へのアプローチなどの効果も期待できます。千葉県の小規模多機能事業所ではすでに取り入れられており、今後はアロマセラピーを活用した新たな価値やサービスを提供し、事業所の魅力をさらに高

事業所 だより

め、利用者や家族、ひいては地域での幅広い認知満足度を高め、アロマの勉強会やイベントなどの交流も広げていきたいと思ひます。





くらし創造の家 朋(とも) 小規模多機能型居宅介護



この秋から冬は、イベント盛りだくさんの朋です。

まずは「おいしいもん食べたいわぁ」の声にお応えして、念願の外出レク開催！みなさん、ずいぶんご無沙汰のファミリーレストランへ行きました。それはもう、店員さん泣かせの全員別メニュー注文・・・食後はさらにアイスやらゼリーやら追加注文。みなさん、外食をフル堪能され満腹のひとときでした。



創作レクリエーションは、富田文化祭出展に向けて盛大に。「鶴は千年、亀万年」ご長寿の願いを込めて「鶴亀」と「くらしそうぞうのいえ とも」を12の月をテーマにちぎり絵で表しました。当日は会場で地域の方の作品を鑑賞し、地元・富田の清鶴酒造の甘酒のふるまいに、身も心も温まりました。寒くなったら味噌仕込み。朝から何時間も炊く大豆の香りがフロアいっぱいに広がります。午後からは利用者さん総出で豆をつぶし、塩と糨を混ぜた味噌玉を桶に力いっぱい投げつけます！力を合わせて仕込んだお味噌、完成すると昼夕の食卓に味噌汁として登場しますよ。味噌開きの日が、今から楽しみです。



地域交流センターあすなろ

- 11/27 「パステルアート教室」
- 12/2 「篠笛体験教室」
- 12/5 「和漢薬膳教室」
- 12/9 「年末恒例 しめ縄づくり教室」を開催しました



今後の予定

- ♥ 「篠笛教室」 1月27日 10:00～
- ♥ 「和漢薬膳教室」 2月27日 13:30～
- ♥ 毎週木曜日「サロンあすなろ」
- ♥ 毎月第3日曜日「子育てサロンあすなろ」

• 詳細は「地域交流センターあすなろ」にお問い合わせください。



事業所ごとにBCP研修&机上訓練を実施しました。

■訪問介護(移動支援)は、「ガイド中！大型ショッピングモールに大地震が！」

■あすなろは「お昼ご飯です！では、いただきます！そこに大地震が！」

■暮らし創造の家 朋(とも)は「訪問中！送迎中！そこに大地震が！」

それぞれの想定条件の中、机上訓練シートを使って、まずは個人ワークで考える、想像する！そして、そこから対策や課題点を話し合いました。BCPをブラッシュアップしていきます。

あすなろ	何が起こるのか→自分の行動	対策・課題点
地震発生	床が揺れる 上から物が落ちてくる 配膳された昼食が落下！窓ガラス割れる？ 携帯電話の地震速報が鳴る ご利用者が不安がる パニックになる 棚やキャビネットの転倒！ ↓ カバンで頭部を守る 利用者とくっついている 身をかがめる 食器棚抑える	<ul style="list-style-type: none"> • 家具の固定 • ピアノの移動防止方法検討 • 家具そのものの必要性見直し

喀痰吸引等研修修了者のためのフォローアップ研修

11月14日(木)大阪医科薬科大学訪問看護ステーション サテライト三島南



喀痰吸引等研修を修了した介護職のためのフォローアップ研修に参加しました。痰が引ききれない、ご利用者の体調不良時の注意点など、不安や疑問を抱えながら医療的ケアに携わっている介護職もいます。大阪医科薬科大学訪問看護ステーションの管理者 林佳美看護師と四家久子特定行為看護師に、振り返りや介護職による特定行為のできる範囲の根拠などをご指導いただきました。医療的ケアの必要なご利用者の在宅生活を支援していくために、さらに知識や技術を学んでいきます。

サービス提供実績報告(2024年9月~11月)



《訪問介護》

利用者数	137 人
利用時間	1,837.5 時間
生活援助	397.0 時間
身体介護	547.5 時間
身体生活	893.0 時間

《介護予防訪問介護》

利用者数	76 人
利用回数	537 回

《ケアワーカー派遣サービス》

利用者数	34 人
利用時間	66.5 時間
家事援助	51.5 時間
身体介護	15.0 時間

《小規模多機能型居宅介護》登録人数平均

くらし創造の家 朋(とも)	19.6 人
あすなろ	18.6 人

《障害福祉・居宅介護》

利用者数	224 人
利用時間	2,874.8 時間
家事援助	1,288.3 時間
身体介護	1,381.0 時間
通院介助	205.5 時間

《重度訪問介護》

利用者数	6 人
利用時間	194.0 時間

《同行援護》

利用者数	81 人
利用時間	972.0 時間

《移動支援》

利用者数	152 人
利用時間	1421.5 時間

《短時間デイサービス》利用人数平均

地域交流センターあすなろ	0 人
--------------	-----



ご利用者にお尋ねしました

◆あなたの好きなおせち料理は？◆

- ◇ かずのこ 正月はかずのこさえあればいい 98年の人生で10kgは食べた
- ◇ 栗きんとん 栗だけ食べて芋残る
- ◇ ぶりの照り焼き 大晦日のスーパーの安売りを待って買ったぶりを焼くのが恒例
- ◇ 黒豆・なます 黒豆大好き
- ◇ にらみ鯛 こんもりした身が好き
- ◇ 煮しめ 特にこんにゃくが好き お母さんが美味しく作ってくれた
- ◇ 生麩 正月は奮発して、金沢の不室屋の生麩を取り寄せる
- ◇ 甘えび 甘くておいしい
- ◇ 煮豆 偏食で、親がこれなら食べると作ってくれていた 大人になったら自分も作るようになった 今は正月といえばこれ！
- ◇ お雑煮 (大豆の鶏だし煮)
- ◇ お餅 合わせ味噌で大根、枝豆、ゴボウ
- ◇ お餅 焼いて砂糖醤油 お正月はやっぱりお餅



映画「ケアニン」上映 & 加藤忠相氏講演会のお知らせ

少子高齢化が進む中、誰もが迎える高齢化社会を考える機会として、映画「ケアニン～あなたでよかった～」の上映と、モデルとなった事業所のあおいけあ代表加藤忠相氏による講演会を開催します。

「ケアニン」は、小規模多機能型居宅介護で働く若者が介護を通じて成長する姿を描いた感動的な映画です。加藤氏は、認知症の方々が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための支援を行う実践者であり、介護の現場での経験や地域福祉の未来について語ります。

地域支援の課題や、多職種連携による解決方法を考えるきっかけとなるこのイベントに、ぜひご参加ください。

開催日時：2025年2月8日（土）

12:45 開場

13:15 上映会

15:20 講演会

16:50 終了

**会 場：高槻市立生涯学習センター
多目的ホール**

参加費：1,000円

お申込み方法：あすなろまでご連絡ください

TEL 072-668-3485



編集後記



今年も落ち葉の季節がやってきました。道路を埋め尽くした銀杏の葉を掃除するのが一日の仕事の始まりです。風に舞う葉っぱを追いかけながら職場の仲間とほっこりする時間もいいものだなと感じています。一年を振り返ると今年もいろいろなことがありましたが、来年も同じメンバーでワイワイ言いながら一緒に頑張っていけたらいいのになあ、と思いながら仕事につきます。今年もあとわずかになりましたが、皆さんもどうぞよいお年をお迎えください。(S)

社会福祉法人高槻ライフケア協会

〒569-0806 高槻市明田町 5 番 7 号 TEL(072) 683-4945 <http://tlca.info/>